



市民活動支援センター通信 第13号

トコロん

謹賀新年

発行・問い合わせ 所沢市市民活動支援センター

〒359-1111 所沢市緑町 3-16-7 新所沢コミュニティセンター 1F

TEL:04-2968-8391 FAX:04-2968-8392

平成27年1月発行

市民活動支援センターの機関紙「市民活動支援センター通信」も第13号の発行となりました。

今回は、新年のごあいさつ、Facebook、各種取材記事、事業開催情報等についてお知らせします。



新年明けましておめでとうございます



皆様におかれましては、希望に満ちた新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平成23年10月に開設しました市民活動支援センターは、今年4年目を迎えました。開設時、当センターの登録団体数は51団体でしたが、平成26年12月末現在では、117団体と、当時の2倍以上の団体数となっております。私たちを取り巻く環境の変化を鑑みると、今後益々、市民活動団体に期待される役割は大きくなっていくものと考えられます。

今後につきましても、市民活動を行っている方や、市民活動に関心がある方を対象に、団体の運営力や広報力アップなどを目的とした市民活動支援講座を開催するなど、市民活動を普及啓発するとともに、市内で活動する市民活動団体を支援して参りますのでよろしくお願いいたします。



ありがとう！100いいね！



平成26年4月より開始しました、市民活動支援センターFacebook ページのいいね！数がとうとう100に達しました。

足掛け8ヶ月に渡りましたが、多くの方にページを見ていただき、いいね！をしていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も多くの方にいいね！をいただけるよう、ページを運営していきたいと思っております。





アダプト・プログラムの現場から

～新所沢（まち）のつながりをつくる会～

新しい清掃美化活動である「アダプト・プログラム」の活動団体である「新所沢（まち）のつながりをつくる会」の仲村会長にお話を伺いました。

ー活動はいつからされていますか？

団体は平成 19 年 8 月に結成し、活動しています。アダプト・プログラムは、市の道路維持課から制度の紹介があり、申請しました。

ー活動の内容について教えてください。

年度の前半（4月から9月）は新所沢まちづくりセンター周辺、後半（10月から3月）は新所沢東まちづくりセンター周辺で月1回清掃美化活動を行っています。ゴミ拾いを主に行っています。タバコの吸殻が多く見受けられます。

ー参加者の状況を教えてください。

会員は常時6名から10名参加しています。参加者の8割は女性で、年齢層は40代から70代となっています。また、平成24年度から、北小学校の子どもたちと一緒に活動しています。会員については、ネット等を通じて常時募集しています。



子どもたちとの清掃活動

ー今年度、公益財団法人食品環境美化協会からの助成団体として認定されましたね。

5万円の助成をいただき、活動の際のユニフォームを購入しました。

ー活動している上で大変だったことなどあれば教えてください。

特段大変な事はありません。自分が住んでいるまちがきれいになることは気持ちがいいです。また、活動している時に「ごくろうさま」と声を掛けてもらえることもありがたいです。

ー活動しているのやりがいやよかったことはありますか。

活動をきっかけに、北小学校の子どもたちと清掃活動を通じてつながれたのがよかったと思います。子どもたちが活動をする中で、自分たちでポイ捨て防止のポスターを作って、近隣の郵便局やドラッグストアに掲示をした、自主的に家族でゴミ拾い活動をはじめたと聞いたときは、その行動力に驚きました。



清掃活動を通じて、子どもたちとのつながりが生まれたことは、まさに「つながりをつくる会」の活動ですね。更に活動が地域で活発になることを願っています。



和ヶ原支え合いセンターの取組み

～NPO 法人カルチャーヨガ協会へインタビュー～

登録団体であるNPO 法人日本カルチャーヨガ協会が運営する和ヶ原支え合いセンターの活動状況を、大坂センター長に伺ってきました。

一事業の開始時期を教えてください。

平成 25 年 11 月からです。

一事業開始のきっかけを教えてください。

埼玉県の地域支え合い仕組み推進事業を知り、やってみたいと思っていたところ、県や市担当者から和ヶ原商店街を紹介され、事務局を当法人で行うこととなりました。

一事業概要について教えてください。

高齢者や妊婦、子育て中の方を対象に、日常のことをお手伝いするサービスを 1 時間 300 円で行っています。サービスは登録しているボランティアが行い、ボランティアには 2 時間あたり 500 円分の和ヶ原商店街で使える地域商品券をお渡ししています。ボランティアを行った方が商店街で買い物をしてもらうことで、商店街の振興も期待できます。

一利用状況について教えてください。

月平均で 50 件の利用があり、時間としては 100 時間位でしょうか。登録しているボランティアは 18 人～20 人程度です。

お手伝いの内容としては、主に掃除の代行や病院への付き添いが多いです。

一利用者は三ヶ島地区の方のみでしょうか。

三ヶ島地区の方が中心となっていますが、航空公園駅付近にお住まいの方の利用もあります。

一現状での課題はありますか。

登録ボランティア数が少ないことが課題です。加えて、登録している方全てが活動できているわけではなく、一部の方に仕事が集中してしまっている状況も否めません。活動できるボランティアを多く集めたいと思っています。特に定年退職した男性の活力を活用したいと考えています。

また、来年県からの補助金がなくなった後の運営が課題です。ヨガ教室や iPad 教室等の自主事業を行いながら、安定的に運営していきたいと思えます。



支え合いセンター事務所



和ヶ原支え合いセンターではボランティアを募集しています！関心のある方は下記までご連絡ください。

【連絡先】070-6985-8967 担当：大坂



開催事業のお知らせ

平成27年2月21日(土) 午後1時30分～午後4時30分 @新所沢コミュニティセンター

人のこころをつかむ チラシのつくりかた

市民活動を行っている方、または市民活動に関心のある方を対象に、チラシのデザインやキャッチコピーのコツなど、広報に関することを学んでいただく『人のこころをつかむ チラシのつくりかた』講座を開催します。

講師は、市民活動の広報印刷物の編集・デザインや、環境問題の雑誌・書籍のデザインを手がけており、これまで多くの広報講座で講師を務められている、認定 NPO 法人さいたま NPO センター 大工原 潤氏です。

「チラシをどう作ればいいのか分からない。」

「いつもワンパターンになってしまう。」といったチラシのお悩みを解消し、短時間でチラシづくりのコツを学びましょう。



「チラシをどう作ればいいのか分からない。」
「いつもワンパターンになってしまう。」
といったチラシのお悩みを解消します。
短時間でチラシづくりのコツを学びましょう。

日 時：平成27年2月21日(土)
午後1時30分～午後4時30分
会 場：新所沢コミュニティセンター 大会室
(所沢市緑町三丁目16番7号)
TEL: 04-2968-8391
講 師：大工原 潤氏
(認定NPO法人さいたまNPOセンター理事)
対 象：市内在住、在勤、在学のNPO法人やボランティア団体等、
非営利的な活動を行っている方又は関心のある方。
共 催：埼玉県西部地域振興センター
定 員：30名(申し込み先着順)

申込・問合せ：所沢市市民活動支援センター
TEL：04-2968-8391 FAX：04-2968-8392
HP：http://opencity.jp/tokorozawa/「トコロんWeb」で検索
Facebook：https://www.facebook.com/tokorozawashi/ihimikatsukushicenter

平成27年3月4日(水)～3月6日(金) @市役所 1階市民ホール

つながろう！「市民活動見本市」を開催します

今年度からの新規事業として、市民、民間企業、行政等と市民活動団体とのつながりの場として、「市民活動見本市」を開催いたします。

市民活動団体によるパネル展示のほか、様々な形で市役所を利用される方に、市民活動をPRできる場に出来ればと考えています。

「市民活動って何?」、「何か活動をはじめたい」、「市民活動団体ってどんなことをしているの?」など、様々な方と市民活動団体との交流の場としたいと思います。どうぞお気軽に会場にお越してください。

詳細が決まりましたら、トコロん Web、フェイスブック等でお知らせいたします。

また、広報ところざわ3月号に記事を掲載する予定です。



編集後記

冒頭でお知らせしましたとおり、フェイスブックページのいいね!数が100に達しました。市内の方のみならず、市外の方、県外の方にもセンターを知っていただくきっかけとなりました。1月にSNS入門講座を行いますので、市民活動団体もSNSを有効活用して情報発信していただきたいと思います。